

地域猫活動啓発推進事業について

1 経緯

猫の遺棄や、野良猫への無責任なエサやりを原因とする生活環境（糞尿等による被害）に関する相談が、保健所生活衛生課動物愛護センター（以下、「愛護センター」という。）に寄せられている。

愛護センターでは、野良猫にエサを与えている人に対して、不妊手術やエサ・トイレの管理をするよう指導すると共に、平成27年度から愛護センターとNPO法人横須賀動物愛護協会（以下、「愛護協会」という。）が協働して、地域猫活動の啓発・推進及び地域猫活動グループに対する支援を行うこととした。

猫に関する苦情・相談件数

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
件 数	253	358	262	263	268

2 事業の概要

- (1) 飼い主のいない猫を地域で管理する地域猫活動団体の登録
- (2) 地域猫活動団体に対する支援
 - ① 地域への説明や合意形成への支援
 - ② 地域猫活動に関する啓発資料の説明、提供
 - ③ 不妊手術するための捕獲器の貸出し、捕獲の助言
 - ④ 愛護センターでの不妊手術（無料）

3 これまでの実績

登録された地域猫活動団体	20団体	（平成29年10月5日現在）
不妊手術実施頭数	平成27年度	34頭
	平成28年度	111頭
	平成29年度	120頭（平成29年10月5日現在）

4 期待される効果

- (1) 地域の生活環境問題の改善（野良猫による糞尿被害の減少）
- (2) 地域住民への動物愛護精神の啓発
- (3) 猫に関する苦情の減少
- (4) 愛護センターに持ち込まれる猫の減少
- (5) 猫の殺処分頭数の削減

猫の収容数

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収容頭数	249	272	127	176	103